

本時のねらい

・自分の学校生活を数値化およびグラフ化して振り返り、また、分析することでこれからの学校生活をより良くしていこうと考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・スプレッドシートでグラフ化された資料をもとに、Jamboard を活用して自分の学校生活の過ごし方について分析することができる。
 ・分析結果を大型テレビに投影することで、より分かりやすい発表ができる。
 ・Padlet を使うことで、今後の学校生活の改善点を学級全体で共有することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Jamboard ・Padlet（1つの画面でみんながコメントや画像、音声などを入力できるオンライン掲示板のようなコンテンツ）
 ・大型テレビ ・Chromecast ・Google Classroom ・スプレッドシート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (3分)	○本時のめあてを確認する。 「分せき結果をもとに、これからの学校生活をより良くしよう」 ○本時の情報活用スキルブックを確認する。 【写真1】	○本時で活用する情報活用スキルブックを大型モニターに提示、および1人1台端末に配信しておくことによって、子どもたちが情報活用スキルを意識した活動ができるようになる。
展開 (35分)	○前時までに行なった自分の学校生活の過ごし方に関する分析結果（「がんばれたこと」「もっとよくするために」）をグループ内で交流する。 【写真2】 ○分析結果を全体で交流する。	○Jamboardに備わっているポインター機能を活用することで、相手意識をもって分析結果を伝えることができる。 ○Jamboardだけでなくスプレッドシートでグラフ化された資料も、必要に応じて随時提示することができる。 ○大型テレビに分析結果を投影することで、発表者が伝えたい内容を聞く児童により一層正確に伝えることができる。
まとめ (7分)	○今回の分析結果をもとに、自分の学校生活をふりかえり、新たな生活目標を設定する。 ○本時の情報活用スキルブックについて自己評価を行う。 【写真3】	○Padletでふりかえりを行うことで、1枚のシートで学級全員のふりかえりを確認することができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 本時で使う情報活用スキルブックを子どもと共有している場面



写真2 前時までに行なった自分の学校生活の過ごし方に関する分析結果をグループ内で交流している場面

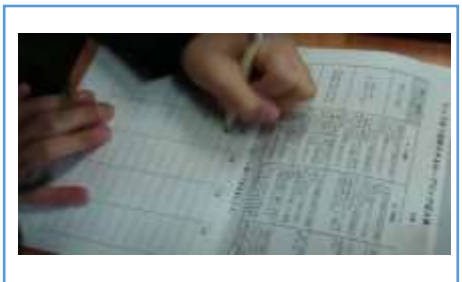


写真3 本時の情報活用スキルブックについて、自己評価を行なっている場面

児童生徒の反応や変容

・自己評価を数値化およびグラフ化したことで、自分の学校生活の良いところや改善点が分かりやすくなった。
 ・分析した結果を自分の学校生活と結びつけ、より良い学校生活を送ろうとしていることがグラフの結果からわかった。
 ・情報活用スキルブックに基づいた発表を行うことにより、伝える相手を意識した発表ができるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・発表する際、レーザーポインターや画面拡大を行うことで、聞く児童にとって伝わりやすい発表を意識できていること。
 ・Padletを使ってふりかえりを実施することで、1画面で全員のふりかえりの内容を確認することができる。
 ・スプレッドシートの自動グラフ機能を使うことで、前回との自分の学校生活の変容を知ることができる。